



幸せ上々、みやこのじょう
日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

No. 3

平成27年度当初予算 特色のある主な事業

平成27年2月19日

宮崎県都城市

平成27年度当初予算 特色のある主な事業 目次

都城市が持つ《3つの宝》を、より一層輝かす！

① 農林畜産業の振興

- | | | |
|-------------------|-------|------|
| (1) 6次産業化推進事業 | | 資料 1 |
| (2) 全国和牛能力共進会対策事業 | | 資料 2 |
| (3) 畜産奨励対策事業 | | 資料 3 |

② 「地の利」活用策

- | | | |
|------------------------|-------|---------|
| (1) 都城志布志道路整備関連事業 | | 資料 4 |
| (2) 山之口SAスマートIC整備事業 | | 資料 5 |
| (3) 山之口SAスマートIC利活用促進事業 | | 資料 6 |
| (4) 後方支援拠点都市推進事業 | | 資料 7 |
| (5) 基幹道路等の整備 | | 資料 8～11 |
| (6) 北消防署移転建設事業 | | 資料 12 |

③ 人間力あふれる子どもたちの育成

(1) ALTによる語学指導事業	資料 13
(2) 小学校図書館サポーター配置事業	資料 14
(3) 小中学校図書室空調設備整備事業	資料 15
(4) 小中学校施設の耐震補強事業	資料 16
(5) 都城教育の日推進事業	資料 17
(6) 都城盆地博覧会(キッズボンパク)推進事業	資料 18~20
(7) 「家庭の日」推進事業	資料 21
(8) 公園利用改善事業	資料 22
(9) ご当地ラジオ体操推進事業	資料 23

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

(1) 都城PR推進事業 【Love Letter Project 都城編・大書初め大会】	資料 24
【都城島津邸本宅写真展開催事業】	資料 25
(2) ぼんちくん活用事業	資料 26
(3) ふるさと納税推進事業	資料 27
(4) スポーツランド都城推進事業	資料 28
(5) みやこんじょPR連携店事業	資料 29
(6) 同郷人会ネットワーク事業	資料 30
(7) 高崎総合公園RVパーク設置事業	資料 31

人口減少防止対策

(1) 子ども・子育て支援事業		
【子育てマップ作成事業】	資料 32
【子育て世代就職支援事業】	資料 33
【婚活支援事業(定住自立圏)】	資料 34
【妊婦乳児健康診査費】	資料 35
【乳幼児医療費助成事業】	資料 36
【ホームスタート支援事業】	資料 37
【保育所・幼稚園等むし歯予防事業】	資料 38
【保育士等研修事業】	資料 39
【放課後児童クラブ事業等】	資料 40
【いじめ防止対策推進事業】	資料 41
(2) 移住・定住推進事業		
【移住・定住推進事業】	資料 42
【地域おこし協力隊活用事業】	資料 43
【企業立地促進奨励措置費 (都城インター工業団地穂満坊地区)】	資料 44

新都市誕生10周年記念事業

(1) 新市誕生10周年記念式典費	資料 45
(2) 新市誕生10周年記念花火大会開催補助事業	資料 46
(3) 「肉と焼酎のふるさと・都城」推進事業	資料 47
(4) 夏期巡回ラジオ体操事業	資料 48
(5) NHK「おかあさんといっしょファミリーコンサート」開催事業	資料 49

中心市街地の活性化

(1) 中心市街地中核施設整備支援事業	資料 50
(2) まちなか活性化プラン事業	資料 51

地域活性化対策

(1) 地域活性化事業 【地域文化活性化事業(庄内地区)】	資料 52
【南九州弥五郎伝説文化交流事業(山之口地区)】	資料 53
【「石川 ^{りきのすけ} 理紀之助」交流事業(山田地区)】	資料 54
(2) 買い物困難者支援事業	資料 55

市民サービスの更なる向上

(1) 職員接遇等向上事業	資料 56
(2) 都城島津邸石蔵カフェ開設事業	資料 57
(3) 志和池最終処分場第1期埋立地利用対策事業	資料 58
【参考】 新域 暮らしの便利帳作成事業	資料 59

都城市が持つ《3つの宝》を、より一層輝かす！

① 農林畜産業の振興

六次産業化推進事務局

(1) 6次産業化推進事業

1 事業目的

本市の基幹産業である農林畜産業は、担い手の減少、高齢化、所得の減少など厳しい状況にあります。そこで、市内で生産された農林畜産物の付加価値を高める6次産業化の取り組みを、生産・加工・販売等の各段階において支援することにより、農林畜産業の活性化など、地域経済全体の発展を図ることを目的とします。

2 事業概要

《主な支援事業》

生産	<ul style="list-style-type: none"> ○園芸振興対策事業【農産園芸課：既存事業】 ○肉用牛担い手農家支援事業【畜産課：既存事業】
周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○「はばたけ都城」6次産業化推進事業【六次産業化推進事務局】 <ul style="list-style-type: none"> ・はばたけ都城六次産業化推進協議会負担金 ・6次産業化ネットワークシステム構築（6次化情報バンク） ○6次産業化リーダー育成事業【総合政策課】 ○6次産業化推進活動事業（勉強会開催／アンケート調査）【農政課】
加工・製造	<ul style="list-style-type: none"> ○「はばたけ都城」6次産業化推進事業【六次産業化推進事務局】 <ul style="list-style-type: none"> ・はばたけ都城6次産業化総合対策事業（ソフト／ハード）
流通・販売	<ul style="list-style-type: none"> ○6次産業化定期市出店支援事業【商工政策課】 ○地場産品販路開拓促進事業【みやこんじょPR課】 <ul style="list-style-type: none"> ・食材試食商談会／同郷人会販売PR／展示商談会への出展 ・農商工連携スタートアップ支援 ○地場食材利用調査研究事業【農政課】 ○新冷凍技術施設整備事業（調査／ハード）【畜産課】

3 予算額

53,035千円



《新商品発表会》



《展示商談会参加》



(2) 全国和牛能力共進会対策事業

1 事業目的

今後開催される宮崎県畜産共進会において、当地域の団体優勝、さらに平成29年に開催される第11回全国和牛能力共進会宮城県大会において、本市が宮崎県3連覇の一翼を担うために、生産者・関係機関一体となった取り組みを推進し、必要な対策及び予算措置を講じます。そして質、量及び名実ともに「日本一の和牛産地」の称号獲得を目指します。

2 予算額

61,740千円

【内訳】

- | | |
|--|----------|
| ①新規種雄牛肥育素牛導入事業
地元産新規種雄牛の肥育枝肉成績データの早期収集 | 13,000千円 |
| ②和牛共進会プロジェクト事業
出品予定者及びJA・行政の畜産技術の相互研鑽 | 450千円 |
| ③都城牛繁殖素牛促進事業
より高いレベルの候補牛の選定と地元保留 | 37,350千円 |
| ④指定交配推進事業
超優秀母牛への重点交配による共進会候補牛の作出
(※人工授精及び受胎確認時の農家への協力費助成) | 9,740千円 |
| ⑤全共肉牛リハーサル事業
全共へ向けての若齢肥育試験に係る経費と通常肥育
枝肉価格との差額補てん | 1,200千円 |



(3) 畜産奨励対策事業

1 事業目的

本市と友好交流都市であるモンゴル国ウランバートル市において、宮崎牛(都城産)のおいしさを認知してもらい、「都城」をPRすることを目的とします。

2 事業概要

○在モンゴル日本国大使館で毎年行われる「天皇誕生日祝賀レセプション」において、出席者である約400名のモンゴル政府関係者・各国外交官等に日本一の宮崎牛(都城産)を提供して「都城」をPRします。

3 予算額

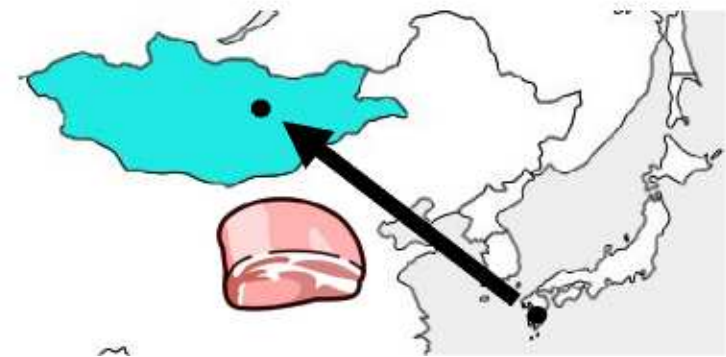
1,575千円

【主な内訳】

在モンゴル日本国大使館主催

「天皇誕生日祝賀レセプション」提供牛肉代

600千円 外



(1) 都城志布志道路整備関連事業

1 事業目的

都城志布志道路は、①南海トラフ巨大地震等が発生した場合の人的・物的支援を行う「防災の道」、②企業誘致や六次産業化の推進に資する「経済の道」、③本地域の新救急医療体制の構築を支える「医療の道」としての機能を発揮するとともに、渋滞や事故、騒音・振動等の軽減による住環境の改善など、活力ある都城広域定住自立圏を形成するために重要な地域高規格道路です。

道路整備の必要性を広く啓発するとともに、早期の全線開通に向けた地元の熱い思いを国や県へ伝え、さらなる整備促進を図っていきます。

2 事業概要

(1) 広報啓発

○広報誌へ記事を掲載するとともに、缶バッジやパンフレットを配付し、啓発を行います。

(2) 啓発活動支援

○整備・活用促進に関する民間の啓発・提言活動を支援します。

(3) 都城志布志道路建設促進協議会負担金

○都城市、曾於市、志布志市の3市による要望活動を推進します。

3 予算額

1,954千円



山之口総合支所・建設課

(2) 山之口SAスマートIC整備事業

1 事業目的

山之口SAスマートICを設置することにより、①日常生活の利便性の向上・広域就業への対応 ②圏域ポテンシャルを活かしたさらなる産業の振興 ③新たな観光の振興 ④救急搬送への対応による救急救命体制の向上 ⑤災害への対応等を図るものです。

2 事業概要

山之口SAスマートIC設置に伴う関連道路整備

○事業期間 平成25年度～平成28年度

○概算総事業費 317,034千円
平成25年6月に国の連結許可

○本年度事業 道路改良工事

3 予算額

本年度事業費 151,800千円

【内訳】

委託料 10,276千円

工事請負費 141,224千円

事務費 300千円



《山之口SAスマートIC完成予想図》

(3) 山之口SAスマートIC利活用促進事業

1 事業目的

山之口SAにスマートICが整備されることに伴い、その利用を促進し、地域の活性化と交流促進を図ることを目的とします。

2 事業概要

市民及び事業者に対し、ETC車載器を新たに購入して取り付けした場合、ETC車載器の購入及びセットアップに要した経費の一部を補助します。

なお、本事業は三股町と連携して実施します。

【補助対象者】 ・都城市または三股町のセットアップ取扱店およびETC車載器販売店等で、新品のETC車載器を購入した者。

ただし、次の場合は補助の対象外とします。

①既に取り付けしているETC車載器の新品への交換

②所有するETC車載器設置車両の更新に合わせてETC車載器も新品へ更新した者

・市内に住所を有する者又は市内に事務所及び事業所を有する法人であり、市税を滞納していない者。

【補助金額】

・車両1台あたり5,000円を補助します。

(対象経費が5,000円に満たない場合は実費額を上限とします。)

・補助する台数は、個人は、1人当たり1車両、法人は、1法人あたり3車両を限度とします。

・予算に定める額を限度とし、予算が無くなり次第、終了します。



《ETC補助ポスター》

3 予算額

5,435千円

(内 ETC車載器設置事業費補助金 5,000円×1,000件=5,000千円)

(4) 後方支援拠点都市推進事業

1 事業目的

南海トラフ巨大地震等において、より被害の大きい地域に対する支援を迅速かつ効果的に行うため、周辺市町の意見等も含めて、平時から連携して具体的な計画等を作成します。

平成19年度に作成している本市地域防災計画について、関係法令・各種ガイドラインの改正や、災害対策の実情等を踏まえ、義務的・戦略的見直しを行います。

2 事業概要

(1) 後方支援計画作成

- ① 受援側自治体及び共同して支援を行う可能性のある周辺市町の基礎的データを収集整理します。
- ② 後方支援活動のシナリオを検討します。
- ③ 必要な機能・施設等の詳細検討及び整備プログラムの作成。
- ④ 宮崎県南部地域大規模災害対策連携推進協議会(平成27年2月設立)に対する運営支援(本市の計画を実行性のあるものとするための調整 等)を行います。

(2) 地域防災計画修正

- ① 南海トラフ巨大地震、原子力災害対策、桜島の大規模噴火等を、本市における新たな災害事象として整理し、所定の改正を行います。
- ② 災害危険箇所等のデータを再整理し、資料編を作成します。
- ③ 上記の改正に伴い必要な諸資料等の作成及び同協議会の運営支援を行います。

3 予算額

33,858千円

【内訳】

周辺地域連携による後方支援計画作成業務	25,866千円
地域防災計画修正業務	7,992千円



(5) 基幹道路等の整備 【街区三股線整備事業】

1 事業目的

都城市山之口町の中心市街地から健康医療ゾーンへのアクセス道及び山之口地区等への緊急車両の通行経路として、都城市と三股町の行政境を越えた広域的な道路整備であり、より効率的で順応性の高い道路形態を形成することを目的としています。

2 事業概要

○事業区間 山之口町富吉～三股町蓼池

○事業期間 平成26年度～平成29年度

○総事業費 706,260千円

事業延長 L=1,000m 幅員 W=7.0m(5.5m)

道路拡幅工事 L= 800m 道路築造工事 L= 200m

用地取得 A≒6,000㎡ 橋りょう架替 N=2箇所

3 予算額

97,090千円

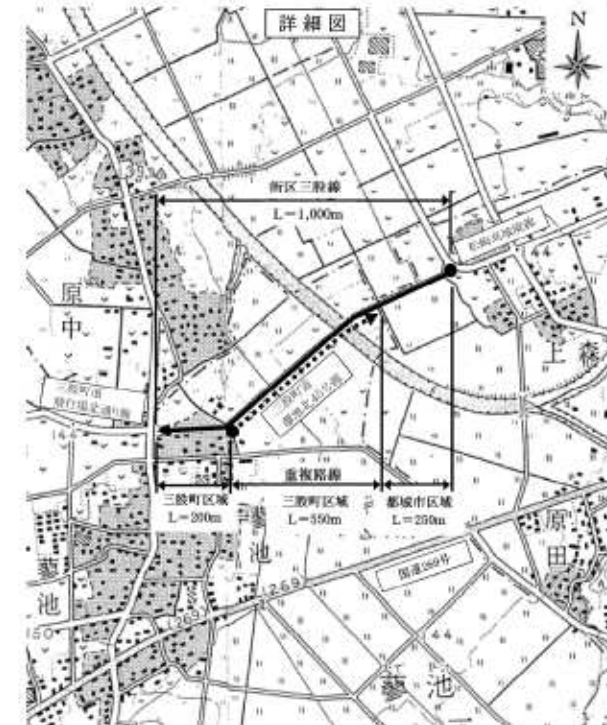
【内訳】

橋梁詳細設計 22,300千円

用地補償調査 22,000千円

用地補償費 51,700千円

その他(役務費外) 1,090千円



(5) 基幹道路等の整備
【鷹尾上長飯通線整備事業】

1 事業目的

外環状道路であり、沿線に防災活動拠点の早水公園が位置し、周辺には祝吉小・中学校や独立行政法人国立病院機構都城病院等の多くの公共施設が存在している鷹尾上長飯通線を整備することにより、通学路として歩行者や自転車の安全確保を行うとともに、災害時の避難路及び防災道路の確保が図られ、環状道路及び都城ICアクセス道路としての機能も確立します。

また、国道269号(郡元通線)や桜馬場通線との交差点部を改良することにより、安全で円滑な交通を図ります。

2 事業概要

○事業区間 国道269号(郡元交差点)
～日豊本線(早水踏切)

○事業期間 平成22年度～平成30年度

○総事業費 1,815,384千円

平成27年度は、用地買収、建物移転補償及び文化財発掘調査、道路改良工事を実施します。

3 予算額

302,093千円

【内訳】

委託費	8,694千円
用地補償費	244,000千円
工事費	47,306千円
事務費	2,093千円



(5) 基幹道路等の整備 【甲斐元通線(歌舞伎橋)整備事業】

1 事業目的

市道甲斐元通線は、主要集落間を結ぶ幹線道路で、当市の環状道路でもあります。
将来的には、市街地から都城志布志道路の平塚ICへのアクセス向上を図る上でも、極めて重要な道路です。
当路線は、交通量が多く、一部橋梁区間の道路幅員が狭いことから、大型車との離合が困難であり、通行に支障をきたしています。
このため、当路線区間を整備することにより、通過交通の安全、交通の円滑化を図り、快適な生活環境を確保します。

2 事業概要

- 事業区間 西之前通線(川の駅の西側)～歌舞伎橋東側
- 事業期間 平成26年度～平成32年度
- 総事業費 710,000千円
平成27年度は、橋梁詳細設計と道路詳細設計を行います。

3 予算額

50,500千円	
【内訳】	
橋梁詳細設計	40,000千円
道路詳細設計	10,000千円
事務費	500千円



(5) 基幹道路等の整備 【鷹尾都原線整備事業】

1 事業目的

この路線は、交通量が多い中、大型車も頻繁に通行しています。また、沿線・近隣に複数の学校があり、小中高生の通学に際し交通事故等の危険性が高いことから、道路の拡幅及び歩道の設置を行い、安全安心な自転車及び歩行者空間を確保するものです。

さらに、緊急災害時の災害支援道路として機能する「都城志布志道路」南横市インターへのアクセス道として、道路網のネットワークを強化します。

2 事業概要

○事業区間 県道都城霧島公園線(都城駐屯地前交差点)
～母智丘通線(さくら支援学校の東側交差点)

○事業期間 平成26年度～平成35年度

○総事業費 1,300,000千円

平成27年度は、路線測量と道路詳細設計及び用地測量を行います。

3 予算額

50,000千円

【内訳】

路線測量等	49,400千円
事務費	600千円



《計画路線図》

(1) ALTによる語学指導事業

1 事業目的

ALT(外国語指導助手)の語学指導を通して、語学向上並びに豊かな国際感覚を身に付ける機会を提供します。

2 事業概要

市内全小学校第5・6学年の外国語活動、全中学校全学年の英語科の授業等にALTを派遣し、次のような業務を行います。

- ・授業での担任による指導の補助
- ・教材作成等の支援
- ・外国語スピーチコンテストの支援や、地域の国際交流活動への協力 など

平成24年度から地域在住外国人をALTとして雇用し、計画的にALTの増員を進めています。

平成27年度は、地域在住外国人のALTを2名増員し、合計13名のALTを配置します。

そのことにより、学校への派遣回数を増やし、児童生徒の語学向上や豊かな国際感覚の育成の機会を一層充実させていきます。

今後も計画的にALTの増員を行い、平成28年度には平成24年度に比べ14名に倍増し、英語教育環境のさらなる充実を図ります。

○ALT配置計画

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人数	7名	9名	11名	13名	14名

3 予算額

41,539千円

【主な内訳】

報酬 15,020千円

賃金 19,505千円 外



(2) 小学校図書館サポーター配置事業

1 事業目的

都城市内の小学校に図書館サポーターを配置し、学校図書館活用の工夫や環境の改善、読書活動の充実を図ることで、児童の読書への興味や関心を高め、読書活動を推進します。

2 事業概要

市内の小学校に図書館サポーターを配置し、次のような業務を行います。

- ・掲示物の作成や掲示などの図書館設営
- ・国語などの授業における読み聞かせやブックトークなどの授業サポート
- ・昼休み時間や給食時間など児童への読み聞かせ活動
- ・本の修理や図書の選本、レファレンス

平成27年度は、図書館サポーターを2名増員し、合計18名配置します。

今後も計画的に図書館サポーターの増員を行い、平成28年度には平成24年度に比べ20名に倍増し、読書活動のさらなる充実を図ります。

○図書館サポーター配置計画

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人数	10名	13名	16名	18名	20名



3 予算額

12,904千円

【主な内訳】

賃金 12,519千円 外

(3) 小中学校図書室空調設備整備事業

1 事業目的

全ての小・中学校の図書室に空調設備を設置します。寒暖対処時だけでなく、新燃岳降灰時等における読書活動を支障なく実施することで、図書室の利用を促進し、教育の環境改善にもつなげます。

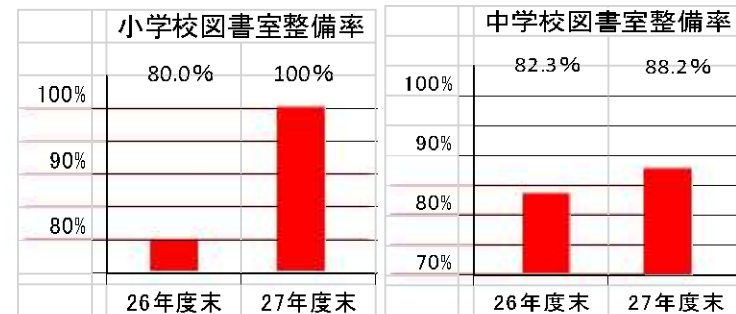
2 事業概要

読書活動時の環境改善を図るために、空調設備の無い小中学校に対して、設置工事を行います。

○設計委託・設置工事 西岳小、吉之元小、夏尾小、麓小、富吉小、石山小、高崎麓小、有水中

3 予算額

18,000千円



※小学校2校、中学校1校の空調設置工事については、耐震補強工事で実施予定です。

(4) 小中学校施設の耐震補強事業

1 事業目的

文部科学省の「公立の義務教育諸学校施設の整備に関する施設整備基本方針」により、構造耐震指標(Is値)0.7以上の耐震性能を有する学校施設として補強を行い、安全、安心な教育環境の整備を行います。また、快適な学習環境、地域に開かれた学校を目指し、バリアフリー改修工事等を同時に行って、平成27年度末までに耐震化率100%を目指します。

2 事業概要

- 校舎改築 東小(新增改築工事)
- 校舎耐震補強 夏尾小、安久小、石山小、有水中(耐震補強工事)

<構造耐震指標(Is値)>

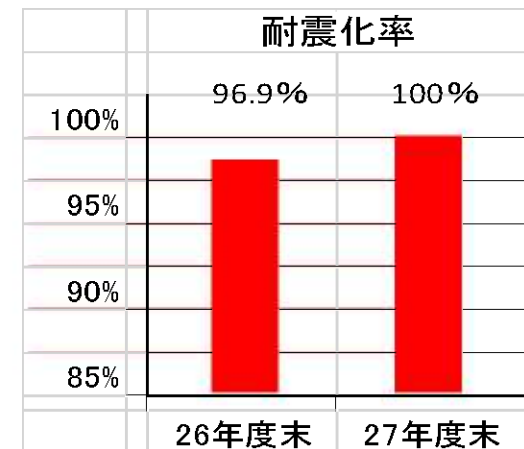
建物の耐震性能を示す指標。Is値が大きいほど耐震性が高いと判断されます。一般に、Is値が0.6以上なら地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が低いとされています。公立学校の場合、「施設整備基本方針」により、通常の建物よりも基準が高く設けられており、「おおむね0.7を超えること」とされています。

3 予算額

435,881千円(5事業)



《施工例: 姫城中補強》



(5) 都城教育の日推進事業

1 事業目的

都城市民みんなで、よりよき社会を構築するために、一人ひとりが学びについて考え、理解と関心を高める日として、明治5年、当時の都城県の参事(現在の知事)に着任した「桂 久武(かつら ひさたけ)」が県を治める3つの方針のうちの1つ『学業を奨励して人材を育成すること』を示した『2月18日』を『都城教育の日』に制定しました。

平成28年2月20日(土)に「都城教育の日」制定を記念した式典を合併10周年記念イベントとして、都城市文化ホール中ホールにおいて開催します。式典では、都城の明日を担う『人財』の子ども達に、夢を感じてもらえるような記念講演会等を予定しています。

また、『都城教育の日』に対する市民意識の醸成と習熟度を高めるために、シンボルマークの公募、パンフレット等の作成を行います。

2 事業概要

- 都城教育の日制定記念式典
記念講演会、シンボルマーク表彰式
- 都城教育の日シンボルマーク公募

3 予算額

2,099千円

桂 久武が示した都城県を治める3つの方針

- 1 朝旨をよく守り制度にさからわないようにすること
- 2 学業を奨励して人材を育成すること
- 3 産業を興し県内を富ませること

※出典 “みやこんじょ” を知ろう！！
都城の歴史と人物



都城県参事 桂 久武

(6) 都城盆地博覧会(キッズボンパク)推進事業 【夏休み子ども市役所探検】

1 事業目的

探検感覚による市役所見学等を通じて、子どもたちに市政を身近に感じ、興味を持ってもらうことを目的としています。

2 事業概要

○実施内容 市役所内探検、ミッション(任務)遂行
議場見学、記念撮影
市長室で市長とランチ
消防署で消防のしごと体験(はしご車の搭乗体験、放水体験等)

※天候等により、内容を変更する場合があります。

○実施時期 8月

○募集対象 小学生(4年生～6年生)

○募集人員 8人

○費用負担 弁当代+保険料(実費)

○申込方法 都城まちづくり株式会社が運営するキッズボンパクのホームページ又は電話で申込受付

3 予算額

0千円



(6) 都城盆地博覧会(キッズボンパク)推進事業
【いざ！夏の陣～武将になって城跡探検～】

1 事業目的

平成27年度は、市名の由来でもある「都城」築城640年目にあたります。そこで、都城本丸跡に建つ都城歴史資料館をメインに、子ども達が楽しみながら市名や郷土の歴史に、より親しみを持ってもらうことを目的としています。

2 事業概要

- 実施内容 都城跡の探検(弓矢体験など) ※天候により内容を変更する場合があります。
都城歴史資料館内見学
昔のお金づくり
- 実施時期 夏休み
- 募集対象 小学生(4年生～6年生)
- 費用負担 実費負担(都城歴史資料館入館料、材料費、保険料)
- 申込方法 都城まちづくり株式会社が運営するキッズボンパクのホームページ又は電話で申込受付

3 予算額

0千円



《体験で作成する昔のお金と都城跡に建つ都城歴史資料館》

(6) 都城盆地博覧会(キッズボンパク)推進事業 【ぶらりうおーく都城】

1 事業目的

キッズボンパクに都城島津邸に関するメニューを組み込むことで、都城島津邸への愛着を持ってもらい、また都城の歴史に対する意識の醸成を図ることを目的としています。

2 事業概要

○実施内容 学芸員による都城島津邸周辺の史跡案内
石蔵でランチ

○実施時期 夏休み

○募集対象 小学生(4年生～6年生)とその保護者

○費用負担 1,500円(昼食代・保険料等)

○申込方法 都城まちづくり株式会社が運営するキッズボンパクのホームページ又は電話で申込受付

3 予算額

0千円



(7)「家庭の日」推進事業

1 事業目的

家庭は、社会を形成する最小単位であり、子どもの健全育成において、家庭の果たす役割は重要です。
子どもたちが家庭、地域で実りある時間を過ごすことができるようにするために、学校や地域との連携を図りながら、毎月第3日曜日の「家庭の日」の更なる推進に努めます。

2 事業概要

○「家庭の日」を推進するために、各種メディアを利用しながら5つの共感活動の啓発に努めます。

更に、小・中学校の児童・生徒を通じて、啓発用チラシを各家庭へ配付します。

※5つの共感活動とは

- ・共に遊ぶ「共遊」
- ・一緒に食事をする「共食」
- ・1日の出来事などを話し合う「共話」
- ・心地よい汗を流す「共汗」
- ・親子一緒に働く「共働」

○親と子のふれあいの機会を創出するため、「家庭の日」には行事等を計画しないよう社会教育関係団体等への周知を図ります。また、体育協会加盟の競技団体については、大会等を開催しないよう協会を通じて更なる周知を図ります。

○中学校の部活動について

- ・「家庭の日」は部活動を原則休みとし、それぞれの部活動規約にも規定として明記するよう周知します。
- ・「家庭の日」の取組状況等を把握します。
- ・毎年度初頭の校長会において、「家庭の日」の周知をさらに図っていきます。
- ・校長会、教育委員会の部活動訪問等を通じて、各学校へ「家庭の日」の意義や理念を引続き周知します。

○スポーツ少年団について

「家庭の日」は、原則として団活動を行わないよう少年団本部の取り決め事項で定められています。
指導者と保護者が協力して、取り決め事項が遵守され、「家庭の日」の取り組みが広まるよう更なる周知に努めます。

○「家庭の日」には、親子を対象としたイベント等に体育施設を優先的に開放します。

3 予算額

0千円



(8) 公園利用改善事業

1 事業目的

公園でのボール遊びについて、制限が多く利用しづらいとの意見がよせられました。
制限については、近隣住民からは窓ガラス破損等の苦情で看板を設置した経緯があり、
双方の意見を考慮して統一した看板を設置することになりました。

2 事業概要

看板に記載する文言を以下のとおり統一します。
『公園内での野球・サッカーはしないでください』

↓
『ボール遊びは周囲の迷惑にならないようにしましょう』

3 予算額

0千円
(既存看板の再利用)



都城市が持つ《3つの宝》を、より一層輝かす！

③ 人間力あふれる子どもたちの育成

総合政策部・総合政策課

(9) ご当地ラジオ体操推進事業

1 事業目的

昨年度作成した「みやこんじょ弁ラジオ体操第1」のCD配布等を引き続き行い、この体操を普及させ、愛郷心の醸成や市民の健康増進を図り、スマイルシティ都城を推進します。

2 事業概要

- 「みやこんじょ弁ラジオ体操第1」CDの配布
- 各種団体等への活用に向けた働きかけ
- 映像データの発信やDVDの貸し出し

3 予算額

0千円



(1) 都城PR推進事業

【Love Letter Project 都城編・大書初め大会】

1 事業目的

都城市PRロゴを作成され、都城PRアドバイザーでもある書家・アーティスト/紫舟(シシュー)氏による市民参加型イベントを開催することにより、同氏の人となりや実績に直接触れ、そのすばらしさを実感すると共に、都城の魅力を全国に発信します。

2 事業概要

(1)「Love Letter Project 都城編」

紫舟氏の指導のもと、大きな和紙を使用し、大切な方へ書で手紙を綴るワークショップ等を開催。

- ・開催時期 平成27年夏～秋
- ・対象 市内小・中学生等

(2)「大書初め大会」

紫舟氏のライフワークの1つである書初め大会を都城で開催。

市民参加型。年始に、叶えたいことや大切にしたい思い等をそれぞれが書初めます。

- ・開催時期 平成28年1月(予定)
- ・場所 市内体育館(予定)

※なお、正式決定は、予算の成立及び新年度の契約成立後となります。

<紫舟氏プロフィール>

日本の伝統的な書を、書画・メディアアート・彫刻へと昇華させ、世界に日本を発信しています。

世界からも高い評価を受け、2014年ルーブル美術館 Carrousel Du Louvre フランス国民美術協会展では、日本代表アーティストに選出され、全作品で「金賞」、またフランスを代表する美術館や博物館の審査員による最高賞「審査員賞金賞」も受賞。書がフランス絵画を超え、最高賞を受賞したことや芸術の聖地で審査委員全員一致により認められた快挙により、日本の文化が芸術の域にあることを世界に伝えることに成功しました。

大阪芸術大学教授、NHK中央放送番組審議委員(2010-2014)、ミラノ万博日本館サポーター、文化庁・2020年に向けた文化イベント等の在り方検討会委員。



《イメージ図》
「Love Letter Project' 13」より



《書家・アーティスト/紫舟氏》

3 予算額

26,450千円

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

教育委員会・都城島津邸

(1) 都城PR推進事業 【都城島津邸本宅写真展開催事業】

1 事業目的

合併10周年記念事業として、都城島津邸本宅において、みやこんじょ大使である俳優・写真家/永瀬正敏氏による写真展を開催します。
また、期間中市民が参加できるトークセッションを開催することにより、同氏の人となりや都城出身者としての想いに直接触れ、そのすばらしさを実感すると共に、都城の魅力为全国に発信します。

2 事業概要

永瀬氏が文化財を含めた都城市の様々な風景や風物などを写真撮影し、作品を都城島津邸本宅に展示するとともに、その作品を囲んで参加者を交えてのトークセッションを行います。

写真家として、また、都城出身者として都城の魅力発信について語ります。

○開催時期 平成27年秋～冬(2か月間程度 詳細日程未定)

○場所 都城島津邸本宅

<永瀬正敏氏プロフィール>

俳優・写真家。都城市出身。

1983年に映画「シオンベンライダー」でデビューし、その後数々の映画に出演。

1990年に「ミステリー・トレイン」に出演し、注目を浴び、多くの映画賞を受賞。

2014年、出演した台湾映画「KANO」では台湾のアカデミー賞とされる金馬獎で「観客賞」「国際映画批評家連盟賞」を受賞。個人としては、日本人史上初の主演男優賞にノミネートされ、51年続く金馬獎の歴史に名を刻む快挙を成し遂げた。

一方で、写真家としても20年以上のキャリアを持ち、個展や写真集は人気を博している。

2014年11月には、故郷都城で「みやこんじょ大使」に就任している。

また、曾祖父は都城の武士で、戊辰戦争や西南戦争に参加しており、都城島津邸との縁も深い。

3 予算額

5,583千円



《俳優・写真家 / 永瀬正敏氏》



《都城島津邸本宅(庭側より)》

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

商工観光部・みやこんじょPR課

(2) ぼんちくん活用事業

1 事業目的

本年1月に、PRキャラクター兼PR部長に就任した「ぼんちくん」を、イラストや着ぐるみなど多様な形態で活用することにより、都城市の魅力を子どもから大人まで多くの人に広く伝えます。

2 事業概要

○着ぐるみの派遣

地域で開催するイベント、市の物産等のPRイベント、保育園等におけるイベントなどに着ぐるみを派遣(原則無料)

※派遣までの流れ・・・派遣依頼書の提出→確認調整→派遣決定

※昨年12月に結成したぼんちくん支え隊も活用します。

○公用車にぼんちくんステッカーを貼りPRキャラクターの周知を図ります。

○合併10周年記念として、ぼんちくん原付ナンバープレートを1,000枚発行

※希望者に対してのみ発行

○ぼんちくん各種グッズの作成

※ぼんちくんシール・クリアファイルなどの作成を予定

3 予算額

10,373千円



《記念ナンバープレート(イメージ)》



《ゆるきゃらまつりで市のイベントをPR》

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

総合政策部・総合政策課

(3) ふるさと納税推進事業

1 事業目的

ふるさと納税制度を活用して本市に寄附をしていただいた全ての方に、「肉と焼酎のふるさと都城」にふさわしい魅力ある特産品を贈呈するとともに、インターネットの民間サイトを活用することにより、ふるさと納税の更なる推進と魅力ある特産品のPRを図るものです。

2 事業概要

平成26年10月7日にスタートしたふるさと納税推進事業の継続と内容の充実を図ります。

(1) 魅力ある特産品等の贈呈

メニューの内容を前年度より拡充し、肉と焼酎の生産高日本一を際立たせる内容の特産品を中心としたメニューの中から、寄附金額に応じて選択していただいた特産品等を贈呈します。

(2) インターネットの民間サイトの活用

ふるさと納税を紹介するサイトに掲載し、直接申し込みができるようにすることにより、本市のふるさと納税の内容の情報発信と手続きの簡素化を図ります。

(3) 寄附手段の多様化

前年度に引き続きクレジットカードによる寄附受付を行います。

3 予算額

826, 231千円

(うち、お礼の特産品送付等業務委託料 804, 000千円)



“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

商工観光部・みやこんじょPR課

(4) スポーツランド都城推進事業

1 事業目的

多数泊が期待できるスポーツ・文化合宿を本市に誘致するため、各団体へ合宿補助を行い、地域経済振興やスポーツ・文化の発展を目指します。

2 事業概要

○スポーツ・文化合宿支援(平成27年度合宿誘致目標40団体(本市マニフェスト))

平成26年度途中に全国トップレベル(最大1人1泊あたり2,000円、上限額30万円)の合宿補助制度に改め、スポーツ・文化合宿の更なる誘致に繋がります。

平成25年度実績:19団体、平成26年度見込み:33団体(平成27年1月末現在)

合宿補助制度

【対象条件】

- ①市外に所在するアマチュアの団体(国内外問いません)。
- ②都城市内の宿泊施設を利用。
- ③原則として市内のスポーツ施設又は文化施設等を利用。
- ④1回の合宿において延べ宿泊数が30泊以上。

【支援内容】

延べ宿泊数に次の金額を乗じた金額となります。(補助限度額 30万円)

- ①民間宿泊施設 1人1泊当たり 2,000円
 - ②公共宿泊施設 1人1泊当たり 500円
- ただし、②においては、食糧費を除く1泊当たりの宿泊料金が税込1,000円以上の場合が対象となります。



スポーツキャンプ・合宿状況

3 予算額

15,184千円

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

商工観光部・みやこんじょPR課

(5) みやこんじょPR連携店事業

1 事業目的

大都市圏にある都城市ゆかりの事業所や店舗をみやこんじょPR連携店と位置づけ、「日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統」にそった継続的なPRをすることにより、都城市の魅力大都市圏に浸透させ、都城市の物産の販路拡大・観光地としての認知度の向上等を図ります。

2 事業概要

都城市ゆかりの事業所や店舗をみやこんじょPR連携店と位置づけ、その店舗形態に応じた都城市のPRを展開します。

○連携店における市の支援策

・宣材の設置

のぼり、ミニのぼり、ポスター、ポップ、パンフレット、認定書、市長メッセージ等

・「都城産」のメニュー化

都城の農産物を使用したメニューの展開

・「みやこんじょフェア」の開催

連携物販店における物産販売等のイベント開催(年2店舗程度で開催)



○都城市の対外的知名度アップ

○都城市の物産の販路拡大

○みやこんじょPR連携店の売上のアップ

3 予算額

1,938千円



《飲食店でのPRイメージ》
のぼり、ミニのぼり、パンフレット

“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

商工観光部・みやこんじょPR課

(6) 同郷人会ネットワーク事業

1 事業目的

同郷人会と密接な関係を築き、大都市圏の地元出身の方々とともに本市のPRを行っていきます。

2 事業概要

○県外の同郷人会との連携を強化し、そのネットワークを活かすことにより、都城市のさらなるPRと物産の販路拡大等につなげます。

・総会等への出席

東 京 在京都城地方同郷人会
名古屋 東海都城三股会
大 阪 近畿高千穂会
広 島 広島宮崎県人会
福 岡 在福宮崎県人会

・各会合において参加者が懐かしいと思う商品や六次化等の新商品等を並べた特設ブースの設置

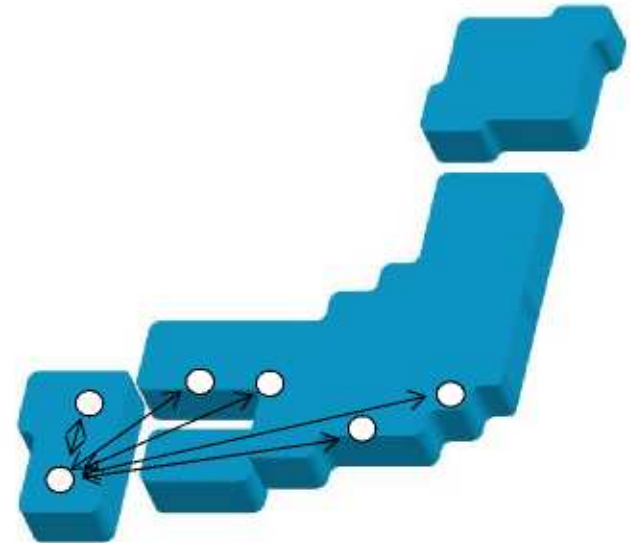
・ふるさと納税の推進PR

・PR連携店等の協力依頼や情報収集

・同郷人会へふるさととの情報発信

3 予算額

285千円



“都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

高崎総合支所・建設課

(7) 高崎総合公園RVパーク設置事業

1 事業目的

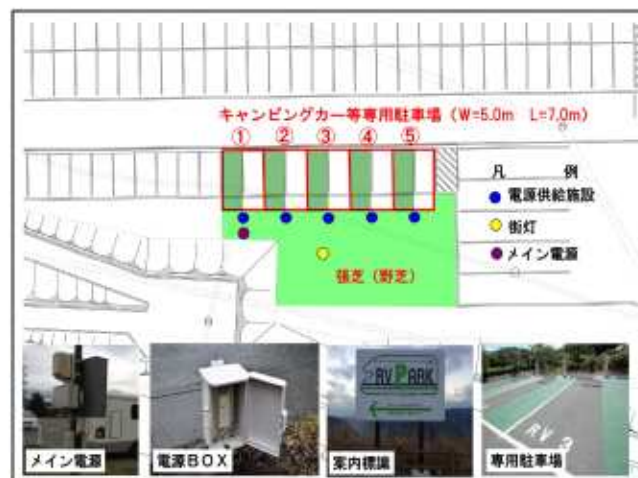
高崎総合公園にある高崎パークゴルフ場、ラスパ高崎等の利用者が、車中泊による長期滞在者が安心できる専用駐車場を整備し、既存施設の利用や周辺地域への食材調達・観光による経済波及効果の促進を図ります。

2 事業概要

- キャンピングカー等専用駐車場 5台分
- 付帯施設(電源施設・案内標識・植栽工等)

3 予算額

4,000千円



《高崎総合公園RVパーク(仮称)平面図》



(1) 子ども・子育て支援事業 【子育てマップ作成事業】

1 事業目的

子育てに関する情報を一冊に集約した「子育てマップ」を作成し、市民の方にわかりやすく子育て支援情報を提供します。

2 事業概要

○掲載予定内容

・子育てに関する制度や手続きのご案内

…「妊娠したら」「保育所に預けたいとき」「小学生になったら」など、ライフステージに沿った手続きのご案内

・地区別の施設マップ

…保育所や幼稚園、医療機関、公園など、子育てするときに利用する施設の基本情報と地区別マップ

・子育てする保護者に知っておいてもらいたい知識

…けがや事故の応急手当、育児のポイントなど

○子育てマップの内容は、スマートフォンやタブレットでも閲覧することができます。

3 予算額

0千円

民間事業者との協働により、
ゼロ予算で作成します。



《作成イメージ》

(1) 子ども・子育て支援事業 【子育て世代就職支援事業】

1 事業目的

結婚・出産・子育てなどを機に看護職から離職し、現在看護職には就いていない(潜在看護師)子育て世代の方を対象として、潜在看護師復職支援セミナーを実施することにより、子育て世代の職場復帰の支援及び慢性的な看護師不足の解消を目指します。

2 事業概要

○看護師復職支援セミナーの開催

看護職復職に自信がない方や、離職後の制度変遷などに不安があり復職に踏み出せないという方等を対象にセミナーを開催し、現在の看護実務について、講義・実習形式で分かりやすく解説します。

【セミナー内容】

- ・講義
医療安全対策、感染対策、与薬等
- ・実習
注射、採血、医療安全等

3 予算額

460千円



《看護師実習のイメージ》

(1) 子ども・子育て支援事業 【婚活支援事業(定住自立圏)】

1 事業目的

未婚化や晩婚化を解消するため、未婚の男女に出会いの場を提供し、少子化対策・人口減少対策に寄与することを目的とします。また、地元テレビ局(株)宮崎放送に業務委託を行うことにより、婚活支援事業としての効果だけでなく、メディアを活用した本市の観光地等のPRも推進します。

2 事業概要

(株)宮崎放送が県内市町村と連携して取り組んでいる婚活支援事業を実施します。

本事業は定住自立圏の中心市として事業を実施するものであり、参加者については、都城広域定住自立圏の構成市町である三股町、曾於市及び志布志市も対象に加えて募集します。

- 応募資格(案) 25～45歳の未婚男性20名、未婚女性20名
居住地要件としては、男女ともに、都城市、三股町、曾於市及び志布志市に在住の方、もしくはこれらの市町内の事業所に勤務する方とします。
- 参加費用(案) 1人あたり5,000円

3 予算額

7,560千円



(1) 子ども・子育て支援事業

【妊婦乳児健康診査費(妊婦健診時の子宮頸がん検査の追加)】

1 事業目的

妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠、出産、子育てできることを目的として、妊婦健康診査及び乳児健康診査の費用助成を行います。

平成27年度より、子宮頸がん検査についても、妊婦健康診査1回目と同時に実施できるよう費用助成します。

2 事業概要

市内在住の妊婦に対し、妊娠届出時(母子健康手帳交付時)に、妊婦健康診査助成券14回分と乳児健康診査受診票2回分を交付しています。平成27年度は、妊婦健診1回目と同時に子宮頸がん検査も実施できるよう、子宮頸がん検査助成券1枚を交付します。

子宮頸がんは、若年層に多くみられ、最悪の場合は子宮全摘出や死につながります。早期発見・早期治療が重要であり、妊娠を機に初めて産婦人科を受診するという若年層にとって、妊婦健診初回時に子宮頸がん検査を受けることは、その後の継続的な健診のきっかけづくりとして期待されます。

子宮頸がん検査は、妊娠初期に1回実施するよう、「妊婦健康診査の実施について」(平成21年2月27日付厚生労働省通知 雇児母発第0227001号)における妊婦健康診査の標準的な検査項目に含まれています。

3 予算額

157,339千円

〔うち拡充分 5,440千円

(子宮頸がん検査分 3,400円×1,600人分)〕



(1) 子ども・子育て支援事業
【乳幼児医療費助成事業】

1 事業目的

乳幼児の医療費の一部を助成することにより、乳幼児期における疾病等の治療を容易にし、乳幼児の福祉の向上と健全な発育の促進を図ることを目的とします。

2 事業概要

平成27年4月1日より助成額を拡充し、入院及び外来の医療費における自己負担額が変わります。

		自己負担額月額	
		平成26年度	平成27年度
入院	0歳～就学前	350円	なし
	入院外	0歳～就学前	350円
	5歳到達月の翌月～就学前	800円	350円

3 予算額

368,978千円

【内訳】

乳幼児医療費助成事業 扶助費	351,193千円
福祉関係業務委託料 外	17,785千円



(1) 子ども・子育て支援事業
【ホームスタート支援事業】

1 事業目的

就学前の子どもがいる家庭を訪問して子育て支援を行うホームスタート事業を支援し、子育てをする保護者の孤立感の解消、育児ストレスの軽減、子育て意欲の向上などを図ります。

「ホームスタート」とは、地域の子育て経験者が週に1回2時間程度、定期的に家庭を訪問し、ボランティアで子育て支援を行う活動です。保護者の気持ちを受け止めて話を聴く「傾聴」と、保護者と一緒に家事や育児、外出などをする「協働」の2つの活動を行います。

2 事業概要

ホームスタート事業に取り組む団体(スキーム)を養成し、平成29年度からの事業実施を目指します。

H27~28 人材の育成、訪問試行など、事業実施に必要な準備

H29~ 事業実施予定

3 予算額

281千円



特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパンのHPより

(1) 子ども・子育て支援事業
【保育所・幼稚園等むし歯予防事業】

1 事業目的

幼児期に集団的・継続的にフッ素洗口を行うことで、むし歯予防の徹底を図ります。

2 事業概要

○健康教育及び説明会の実施

- ・歯科衛生士による児童に対する健康教育を実施します。
- ・歯科医師による保育所、幼稚園の職員、保護者に対する説明会を開催します。

○フッ素洗口の実施

- ・フッ素洗口の希望のあった4歳以上の幼児を対象とした、保育所、幼稚園等での集団的、継続的なフッ素洗口を行います。

3 予算額

588千円



(1) 子ども・子育て支援事業 【保育士等研修事業】

1 事業目的

保育ニーズの多様化や入所児童の低年齢化に加え、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、保育士の配置が今以上に必要となり、今後も保育士が、慢性的に不足していくことが懸念されます。また、共働きや核家族の増加に伴い、保育園、幼稚園、認定こども園等への入所児童数は増加傾向にあります。

そこで、さまざまな理由で保育現場を離れている有資格者(潜在保育士)を新たに発掘するとともに、現場への復職を目的とした研修を行い、保育士不足と空き待ち児童の解消を図ります。

2 事業概要

保育士及び幼稚園教諭の養成校である南九州大学に対し、企画立案から研修実施まで、全てを委託します。

教育現場のノウハウや強みを生かした幅広いカリキュラムを提供することにより、復帰への一歩を踏み出すことができない潜在保育士が、希望と期待を持って職場復職できるようにサポートします。

3 予算額

1,000千円



《保育士研修のイメージ》



《南九州大学》

(1) 子ども・子育て支援事業 【放課後児童クラブ事業等】

1 事業目的

保護者が、仕事などで昼間家庭にいない小学生に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図るものです。
女性の就労の増加や核家族化が進行する中、仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成対策として重要な役割を担っています。

2 事業概要

共働き、ひとり親家庭の子どもたちは、放課後や春・夏・冬休みなどの学校休業日には、子どもだけで過ごすこととなります。
子どもたちが、安全で充実した生活を送ることができるよう、保護者が働いている間、小学校の空き教室などの施設を利用して、子どもたちに遊びの場、生活の場を提供しております。

○放課後児童クラブ事業・法人立放課後児童クラブ事業

平成27年度には、平成26年度より5箇所増加し、市直営と委託先を合わせて47箇所の放課後児童クラブを開設します。

○放課後児童クラブ開所時間延長支援事業

18時30分を超えて放課後児童クラブを行う事業者に対して追加的な費用を援助するもので、23箇所を実施します。

(19時まで延長)

事業所における開所時間との乖離の縮小により、子どもの安全・安心な居場所を確保することができます。

3 予算額

283,037千円

【内訳】

放課後児童クラブ事業(直営)	77,155千円
法人立放課後児童クラブ事業	177,231千円
放課後児童クラブ開所時間延長支援事業	28,651千円



(1) 子ども・子育て支援事業 【いじめ防止対策推進事業】

1 事業目的

いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こる可能性があり、被害児童生徒の生命または身体に重大な危険を生じさせるおそれがあります。そのため、いじめを認知した際、重大な事態に発展させないためには早期解決することが非常に重要です。

また、万が一重大な事態に発展してしまった場合、その案件について専門的知見から調査をすることが、同様の事態の再発防止につながるものです。

そのため、いじめの早期解決のための事業を実施するとともに、万が一重大事態が発生した際に調査を実施します。

2 事業概要

○いじめが発生した学校へ、必要に応じて心理・福祉等の専門家を派遣し、早期解決に向けた助言をします。

○三股町と共同でいじめ防止対策専門家委員会を年1回開催し、都城市及び三股町のいじめの現状、いじめ防止対策事業等について協議します。

○重大な事態が発生した際に、法律・心理・福祉・教育の専門家で構成する専門家委員会による調査をします。

3 予算額

1,615千円

【主な内訳】

都城市・三股町いじめ防止対策専門家委員会委員報酬	805千円
いじめ防止対策専門家派遣謝礼	220千円 外



「都城市・三股町いじめ防止対策専門家委員会」
設立調印式

(2) 移住・定住推進事業 【移住・定住推進事業】

1 事業目的

人口減少が課題となる中、県外・市外から人を呼び込む移住を推進するため、移住希望者への情報発信や、住まいの確保等に関する支援を行います。

2 事業概要

(1) 移住パンフレット及び移住ホームページの改訂・拡充

移住施策の推進にあたり、積極的な情報発信を行うために、移住パンフレット及び移住ホームページを改訂・拡充します。

(2) 空き家バンクの創設

宅地建物取引業協会と連携のもとに空き家バンクを創設し、移住者向けに物件情報の提供を行うとともに、空き家の有効活用を図ります。

(3) お試し滞在制度の創設

移住希望者の生活体験及び移住準備の支援策として、本市での宿泊費(対象宿泊施設:公共温泉施設)の一部を助成します。

(4) 移住・定住促進事業費補助金(空き家リフォーム等)の創設

移住希望者の定住化を支援するために、空き家を購入して居住する方の空き家改修費用の一部を助成します。

3 予算額

3,274千円

【内訳】

委託料(移住パンフレット及び移住ホームページ作成)	567千円
お試し滞在制度使用料(公共温泉施設宿泊助成分)	300千円
移住・定住促進事業費補助金	1,800千円
移住相談会への参加旅費等	607千円



(2) 移住・定住推進事業 【地域おこし協力隊活用事業】

1 事業目的

都市部から地域おこし協力隊として活動する隊員を採用し、外部の視点をもって移住施策を推進します。

2 事業概要

○地域おこし協力隊の設置

地域おこし協力隊を増員し、外部の視点をもって移住施策の更なる推進を図ります。

・地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材(主に都市住民)を受け入れて委嘱し、地域おこし活動等に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献してもらう取り組みです。

本市における地域おこし協力隊は、平成26年度の高崎地区における採用に続いて、2人目になります。

3 予算額

3,359千円



(2) 移住・定住推進事業

【企業立地促進奨励措置費(都城インター工業団地穂満坊地区)】

1 事業目的

都城IC周辺のポテンシャルを最大限に活かした都城インター工業団地穂満坊地区に対して、九州内でトップレベルの競争力のある奨励措置を拡充することにより、本市の産業の発展及び新たな雇用創出を図ります。

2 事業概要

○都城インター工業団地穂満坊地区の奨励措置の概要

- ・九州内でトップレベルの競争力のある奨励措置
- ・企業立地の奨励措置を拡充

	拡充前	拡充後
雇用奨励金	100人未満 1人20万円 限度額2千万円 100人以上 1人30万円 限度額3千万円	1人50万円 限度額なし
工場等用地取得補助金	土地取得額×50% 工業団地以外の用地 限度額5千万円 工業団地 限度額1億円	土地取得額×50% 新規雇用100人未満 限度額1億円 100人～200人未満 限度額2億円 200人～300人未満 限度額3億円 300人以上 限度額なし
環境施設等整備補助金	—	整備費用×50% 新規雇用100人未満 限度額2千万円 100人～200人未満 限度額3千万円 200人～300人未満 限度額4千万円 300人以上 限度額1億円

3 予算額

170,090千円



(1) 新市誕生10周年記念式典費

1 事業目的

平成28年1月1日に、新都市が誕生してから丸10年を迎えます。
この10周年という節目を迎えるに当たり、新市誕生から10年間の歩みを振り返るとともに、まちづくりに貢献された方々を表彰するなど、さらなる飛躍に向けた出発点として新都市誕生10周年記念式典を行います。

2 事業概要

- 開催日 平成28年2月5日(金)
- 開催場所 都城市総合文化ホール
- 内容等
 - ・アトラクション(郷土芸能の披露)
 - ・式典(表彰、市歌斉唱、新市誕生10周年の歩み放映)
 - ・記念講演(講演者未定)

3 予算額

8,868千円

【主な内訳】

受賞者用記念品等	1,239千円	
案内状等	475千円	
10周年記念DVD作成委託	1,210千円	外



《平成18年7月22日に行われた新都市誕生記念式典》

(2) 新市誕生10周年記念花火大会開催補助事業

1 事業目的

新市誕生10周年記念事業として、同じく10周年を迎える「焼肉カーニバル」と連携した九州トップレベルの「花火大会」を実施することで、より魅力的なイベントとします。そのことにより、「肉と焼酎のふるさと・都城」をさらに広くPRするとともに、新たな観光客の増加につなげます。

2 事業概要

○新市誕生10周年記念花火大会

- ・開催日 平成27年10月10日(土)(予定)〈焼肉カーニバルと同時開催〉
- ・会場 高城観音池公園(焼肉カーニバル会場)
- ・実施主体 (一社)都城観光協会
- ・花火打上数 約1万発

〈特徴〉

焼肉カーニバルとのコラボ事業
通常の花火に加え特別構成のミュージック花火を実施

○その他同時開催予定事業

- ・焼肉カーニバル10周年関連事業(都城観光協会主催)
アイラブ都城大絶叫大会、北海道物産市、プレミアム商品券の発行等
- ・南九州愛郷フェスタ(都城青年会議所主催)
牛豚鶏コロッケコンテスト、都城まかないグルメグランプリ等
※同フェスタも5周年を迎えます。

3 予算額

5,300千円



《花火大会イメージ》

(3)「肉と焼酎のふるさと・都城」推進事業

1 事業目的

ソラシドエアが平成24年8月の就航10周年を機に開始した、地域振興の為の新たな取り組み『機体活用プロジェクト「空恋」』を活用し、新都市誕生10周年の記念事業として都城市の魅力を発信します。

2 事業概要

「空恋」は、ソラシドエアが運航している機体に地名やイラストをラッピングする地域のPRプロジェクトです。搭乗するお客様に、「空の旅を通じて、九州・沖縄の町と出会い恋をしていただきたい。」そんな思いから生まれました。この「空恋」を活用し「肉と焼酎のふるさと・都城」を全国へ向けてPRしていきます。

- ・ソラシドエアが運航している機体にPRロゴやキャッチフレーズ等をラッピング
(主翼後方の上下左右1か所、直径30センチを機体入口1か所)
- ・機内誌を発行し、本市の肉と焼酎、自然や伝統といった魅力をPR
- ・機内ヘッドレストカバーやCA用エプロンでのPR
- ・就航セレモニーやイベントの開催

3 予算額

6,456千円



(4) 夏期巡回ラジオ体操事業

1 事業目的

都城市合併市政10周年を迎えるイベントとして、市民が一斉に参加する「平成27年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催し、地域のきずなを深めるとともに、手軽にできる体操で市民の健康づくりを推進し、都城を元気にする事業です。

2 事業概要

夏休み期間中に、「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を、都城運動公園陸上競技場をメイン会場として開催します。また、市内サテライト会場でも同時開催し、都城市民総参加の下、全国に元気な都城市民の声を発信します。

○開催日	平成27年7月25日(土曜日)
○開会式	6:00~6:10
○体育指導	6:10~6:30
○ラジオ体操	6:30~6:40 NHKラジオ 全国放送
○会場	都城運動公園陸上競技場 他 (雨天時は体育館)

3 予算額

401千円



《ラジオ体操イメージキャラクター》
「ラタ坊」

(5) NHK「おかあさんといっしょファミリーコンサート」開催事業

1 事業目的

「おかあさんといっしょ」のおにいさん、おねえさん、ポコポットイトの仲間たちが繰り広げる歌や踊りがいっぱいの楽しいステージを都城の宝である子どもたちに届け、子どもたちの健やかな成長につなげます。

また、日ごろ子育てに追われているおかあさんに、子どもと共に過ごす楽しいひと時を提供します。

2 事業概要

子どもに大人気のNHKテレビ番組「おかあさんといっしょ」のおにいさん、おねえさん、ポコポットイトの仲間たちが都城市総合文化ホールに大集合し、歌や踊りがいっぱいの楽しいステージをお届けします。

○日時 平成27年12月5日(土)

○会場 都城市総合文化ホール

3 予算額

0千円



© NHK

(1) 中心市街地中核施設整備支援事業

1 事業目的

中心市街地の活性化に向けて、官民協働で中核施設の整備を進めます。

社会資本整備総合交付金の都市再構築戦略事業を活用し、図書館、子育て世代活動支援センター、健康センター、全天候型多目的広場等の行政施設を整備します。

また、都市機能立地支援事業を利用して民間事業者が主体となって実施する施設整備を支援することで、新たな都市機能をまちなかに創出し、中心市街地全体の活性化を図ります。

2 事業概要

事業期間は平成28年度までの4ヵ年(平成25年度補正事業含む)で、平成27年度は行政施設整備用地内の埋蔵文化財発掘調査、基本・実施設計、サイン計画策定等を進め、一部施設の施工にも着手します。

また、公募型事業提案方式で商業施設等の整備を行う民間事業者の選定を行い、都市機能立地支援事業で民間施設の整備を支援していきます。

3 予算額

1, 141, 123千円

【内訳】

発掘調査費	10, 015千円
委託料(基本・実施設計委託、各種調査・測量等委託など)	348, 444千円
工事請負費(一部施設施工費)	778, 306千円
事務費(施設修繕・管理費等を含む)	4, 358千円



《敷地整備が進む中心市街地中核施設施設整備予定地》

(官民施設が整備される大丸本館・事務棟跡と
図書館に改修予定の旧センターモール棟)

(2) まちなか活性化プラン事業

1 事業目的

旧大丸跡地で実施される図書館や子育て世代活動支援センターなど新たな中核施設整備と連動して、平成27年度から新たに配置する「タウンマネージャー」を機軸に、周辺の商店街や中心市街地エリアを対象としたソフト事業等を展開していくことで、中心市街地全体の活性化を図っていきます。

2 事業概要

平成25年度に見直しを図った「まちなか活性化プラン」を、平成26年度から平成28年度までの3カ年で実施していきます。

平成27年度から新たに、「みやこんじょ子ども商店街事業」や「公募提案型事業支援事業」など、次世代育成や、中心市街地で積極的に活動する市民団体等を支援する取組を進めていきます。また、平成26年度から実施している「はばたけ未来の巨匠！高校生レストラン事業」や「商店街イルミネーション事業」など、中心市街地に賑わいを創出する事業も継続していきます。

3 予算額

24,257千円

【主な内訳】

補助金：14,521千円（※詳細下記） 委託料：9,639千円（イルミネーション設置） 外

◆平成27年度新規事業

- ・タウンマネージャー配置事業 8,100千円
- ・新規創業ロングサポート制度 176千円
- ・公募提案型事業支援事業 900千円
- ・みやこんじょ子ども商店街事業 300千円
- ・食による歩行者天国実証実験事業 445千円
- ・まちなか人材育成支援事業 300千円

◆継続事業

- ・空店舗リフォーム事業費補助金 900千円
- ・コミュニティ型賃借料補助 900千円
- ・商店街イルミネーション事業 900千円
- ・アーケード等街路灯のLED化事業 300千円
- ・はばたけ未来の巨匠！高校生レストラン事業 600千円
- ・まちなか情報発信支援事業 400千円
- ・まちなか起業支援事業 300千円



《ワンパークイルミネーション実施状況》



《食による歩行者天国実証実験事業イメージ》

(1) 地域活性化事業

【地域文化活性化事業(庄内地区)】

(1) 庄内地区をアピールするDVD等作成事業

- 事業概要 地区内の自然・文化・暮らし等を1年を通して静止画・動画で撮影し画像データベースを作成、目的に応じ編集した画像等を各種媒体(DVD、インターネット等)で情報発信することにより、地域内の住民意識の向上や観光客の誘致、定住促進につなげるものです。
- 事業主体 庄内地区まちづくり協議会
- 事業内容 庄内地区の風景・史跡・イベント等を撮影、動画編集
- 事業期間 平成26～28年度(3ヶ年)
- 予算額 1,610千円

(2) 庄内地区歴史文化読本の作成事業

- 事業概要 地区内の歴史や文化に関する読本を作成し、庄内中1年生に配布することで、地区内の歴史や文化について学び、ふるさとを愛し誇りに思う心を育てるものです。
- 事業主体 庄内地区まちづくり協議会
- 事業内容 読本の作成
- 事業期間 平成26～28年度(3ヶ年)
- 予算額 200千円

(3) 庄内地区内史跡の保存整備事業

- 事業概要 地区内に現存する史跡の保存を進め伝承を後世に伝えるとともに、観光資源として活用し地域振興につなげるものです。
- 事業主体 庄内地区まちづくり協議会
- 事業内容 関之尾公園内説明板設置等
- 事業期間 平成26～28年度(3ヶ年)
- 予算額 313千円



《DVD撮影の様子》

(1) 地域活性化事業
【南九州弥五郎伝説文化交流事業(山之口地区)】

1 事業目的

南九州の大人人形伝説である「弥五郎」三兄弟を、山之口に参集させ交流を図ることにより、先人から大切に保存・継承されてきた貴重な伝統文化を見直すとともに、後世に伝える機会とし地域活性化に寄与するものです。

2 事業概要

「弥五郎」三兄弟・・・ 長男：山之口町 「的野正八幡宮弥五郎どん」
二男：曾於市 「岩川八幡神社弥五郎どん」
三男：日南市 「田ノ上八幡神社弥五郎さま」

山之口で12月に開催される第20回“生きがいふれあいフェスタ”の場に「弥五郎」三兄弟を参集させ、弥五郎どんの組み立て体験やそれぞれの郷土芸能の披露等を行い、文化交流を行います。

3 予算額

619千円



《山之口弥五郎どんまつり》

(1) 地域活性化事業

【「石川理紀之助(りきのすけ)」交流事業(山田地区)】

1 事業目的

まちづくりの基本は“人創り”であるとの観点から、子供たちが明治期に山田の谷頭地区で農民の生活指導を行った「石川理紀之助」の考え方を学び継承するとともに、氏を介して他県の人たちと交流することにより、関係が希薄になっている地域への関心や愛着心を高めるとともに、地域の将来を担う人材を育成します。

2 事業概要

山田管内の4小中学校の児童生徒と地域の関係者が、石川理紀之助の地元である秋田県潟上(かたがみ)市の羽城(うじょう)中学校区の児童・生徒や地域の人たちと相互の訪問やテレビ会議により交流を行います。

3 予算額

1,260千円



《交流の様子》

○石川理紀之助(1845年～1915年)略歴

小泉村(現秋田市金足地区)生まれ。

21歳で山田村(現秋田県潟上市昭和豊川山田地区)の石川家の婿養子となり、生活の拠点を山田村へ移しました。

1902年(明治35年)、中霧島村谷頭地区(現都城市山田町)の農民救済へと赴きます。秋田から谷頭までの旅費は自己負担で無報酬でしたが、自ら率先して勤労、儉約の生活を実践し、農民の生活を指導しました。

半年後には暮らしが劇的に改善し、理紀之助が谷頭を去るときは、多くの住民が別れを惜んだそうです。

このような縁があり、理紀之助の奉仕の精神を学ぼうと、理紀之助にゆかりのある潟上市と都城市山田町の相互交流が行われています。



石川理紀之助一行と夜学生(前列中央が石川翁)
1902年(明治35年)撮影

(2) 買い物困難者支援事業

1 事業目的

中山間地域等の人口減少や高齢化の進行により、身近な商店が閉店するなど日常生活に必要な食料品等の購入が困難である地域において、事業者が高齢者等の買い物困難者に対して移動販売を行うことで買い物機会を確保・維持し、合わせて個人消費の喚起を促すことを目的とします。

2 事業概要

○補助対象となる事業者等

市内に日常生活に必要な食料品等を販売する店舗等を有する法人又は個人事業主

○事業対象地域(買い物困難地区)

高齢化率が30%以上、バス路線の運行本数が1時間に1本未満であること、店舗数が少ない等の理由から、買い物行為を行うことが著しく困難である地域を「買い物困難地区」とします。

対象となる買い物困難地区

- ①西岳地区、庄内地区
- ②中郷地区、五十市地区今町・大岩田町、姫城地区下長飯町
- ③山之口地区、高城地区
- ④志和池地区、山田地区

○補助対象経費・補助率・補助限度額・補助期間

補助対象経費	補助率・限度額	補助期間
車両購入費	補助対象経費の 3分の2 限度額:250万円	単年度
人件費	定額50万円	3カ年度
広告費	定額6万円	3カ年度

3 予算額

12,240千円



《イメージ図》

(1) 職員接遇等向上事業

1 事業目的

市では、職員の接遇に関しては、平成19年4月に作成した接客理念に基づき、公務員として自覚を持ち、思いやりと気配りの心での対応をモットーに取り組んできました。その中で、接遇強化月間や内部講師による研修等を実施し、接遇能力のスキルアップを図るとともに市民サービスの向上に努めてきたところです。

今回、職員の更なる接遇等の向上のため、民間外部講師による接遇研修や消防学校・自衛隊への派遣研修等を実施し、市民の皆様のニーズを踏まえ、おもてなしの心で気持ちの良い対応をする能力や非常時・緊急時に職員間で連携し的確に対応できる能力の育成を図ります。

2 事業概要

○おもてなし力の向上

民間レベルの接遇を目指し、外部講師による研修を実施します。

- ・全職員を対象に基本的な接遇に関する講演会
- ・部課長を対象とした管理職向け研修会
- ・本庁1・2階職員を対象とした接遇集中研修

○消防学校や自衛隊への派遣研修

自分の行動や仕事に対する姿勢を見つめ直すとともに、団体行動を通して連帯感や協調心を養成するため、宮崎県消防学校及び陸上自衛隊都城駐屯地での研修を実施します。

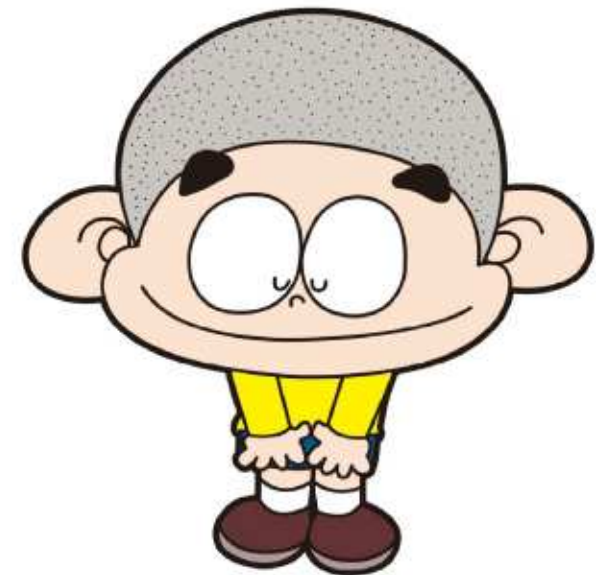
- ・基本動作訓練、普通救急救命等、消防学校や自衛隊内での生活体験

3 予算額

6,947千円

【内訳】

接遇研修	6,651千円
消防学校及び自衛隊派遣研修	296千円



(2) 都城島津邸石蔵カフェ開設事業

1 事業目的

都城島津邸石蔵に軽食、飲料を販売提供するカフェを開設し、より多くのお客様にご来場いただくことを目的としています。

2 事業概要

都城島津邸内の石蔵を活用したカフェを開設します(民間業者が運営)。

敷地内は火気厳禁となっておりますので、IHや電子レンジで提供できる軽食と飲料の提供を行います。

本宅北側の広場を利用し、オープンカフェスタイルでの活用も併せて行います。

○営業日 火曜日～日曜日(石蔵でイベント開催の際は休業)

○営業時間 午前10時～午後4時

3 予算額

0千円



(3) 志和池最終処分場第1期埋立地利用対策事業

1 事業目的

志和池最終処分場第1期処分場は、平成11年4月から一般廃棄物の埋立を開始し、平成25年9月末で埋立が終了しました。この埋立地上層部の有効活用を図るため、埋立地利用対策事業を行うものです。パークゴルフ場をメインとし、多目的広場を併設するなど、子供から大人まで楽しめる交流の場を創出するものです。

2 事業概要

- 事業箇所 都城市上水流町
- 敷地面積 31,971平方メートル
- 総事業費 241,011千円
- 整備計画 パークゴルフ場は、約14,500平方メートルの敷地に18ホールのコースを配置し、多目的広場にはコンビネーション遊具や遊歩道等の整備を行います。

3 予算額

241,011千円

【内訳】

測量設計委託の経費 8,011千円
 パークゴルフ場等の工事請負費 233,000千円

○工程表


27年度	
測量設計委託	→
工事請負	→

※但し、供用開始については、芝の養生のため平成28年9月を予定しております。



【参考】  ぐらしの便利帳作成事業

1 事業目的

市役所への利便性の向上等を図るため、市民の暮らしに直結した各種手続きや施設案内、地域の生活情報等を掲載した市民向けの情報誌「 ぐらしの便利帳」を発刊します。

2 事業概要

市と民間事業者(株式会社サイネックス)との協働事業として取り組み、その費用は、全て広告料収入で賄っています。
平成27年3月に市内の全世帯に配布します。
(市民課窓口では、転入世帯に対しても随時、配布を行っていきます。)

○発行部数 75,000部

○発行頁数 A4判/156頁

○今後のスケジュール

・平成27年3月 5日

発刊式

・平成27年3月 5日

全戸配布開始

・平成27年3月31日

全戸配布完了

3 予算額

0千円



《  ぐらしの便利帳／表紙イメージ 》